

リモート HUB シリーズのラインナップ

○標準版(V1)

・有線版（白）

有線 LAN に接続してお使いいただくタイプです。



・無線版（青）

無線 LAN に接続してお使いいただくタイプです。



○標準版(V2)

・有線版（黒）

有線 LAN に接続してお使いいただくタイプです。



※V1 と V2 は形は異なりますが、機能的に同等品です

・無線版（白）

無線 LAN に接続してお使いいただくタイプです。



○リモート Stick



PC の USB ポートに差し込んでお使いいただけます。

USB メモリから BOOT して利用することで、ご利用の PC の HDD にアクセスせずにリモートデスクトップクライアント環境を実現できる製品です。

リモート HUB のいろいろな利用方法

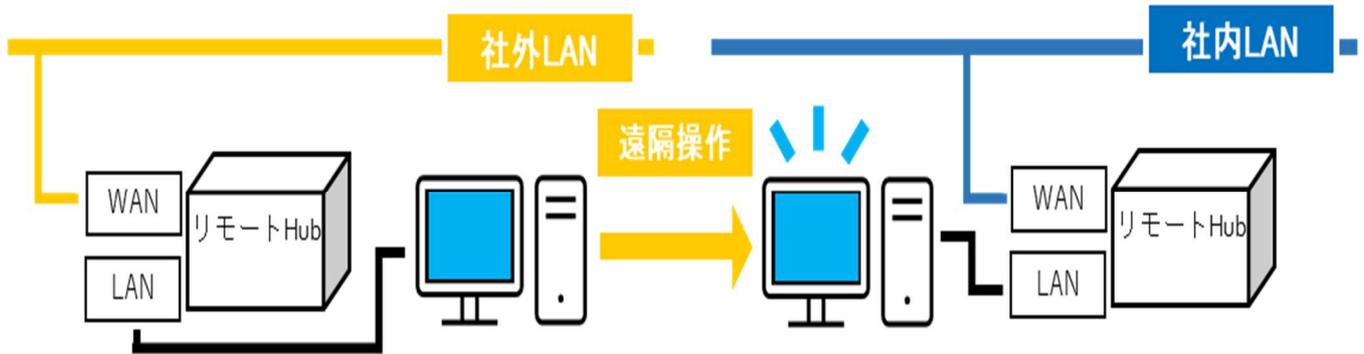
○リモートデスクトップで利用

リモート HUB を接続した PC 同士で、デスクトップの遠隔操作が可能です。

2 台のリモート HUB を用意し、それぞれの PC に接続するリモート HUB の WAN ポートをお使いのインターネットに、LAN ポートを PC に接続することでご利用いただけます。

Windows のリモートデスクトップ接続を利用して、デスクトップ操作を行います。

社外 LAN から接続する場合、リモート Stick を利用して接続を行うことも可能です。（社内にリモート HUB を接続）



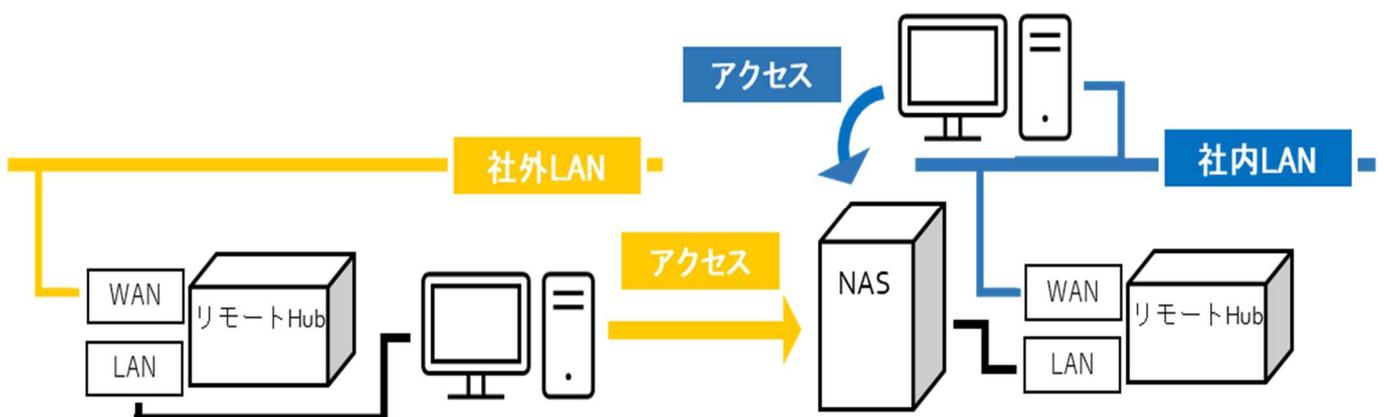
○NAS を共有して利用

社内でお使いの NAS にリモート HUB を接続することで、社内外から NAS へのアクセスが可能です。

ご利用中の NAS を社外からアクセスしたい、事務所間で NAS のファイルを共有したいなどの要望に応えることが可能です。

リモート HUB の WAN ポートをお使いのインターネットに、LAN ポートを NAS に接続することでご利用いただけます。

リモート HUB を持っているユーザーのみ接続が接続できるので、リモート HUB を鍵のような役割にしてセキュリティを確保しながらファイル共有を行うことができます。



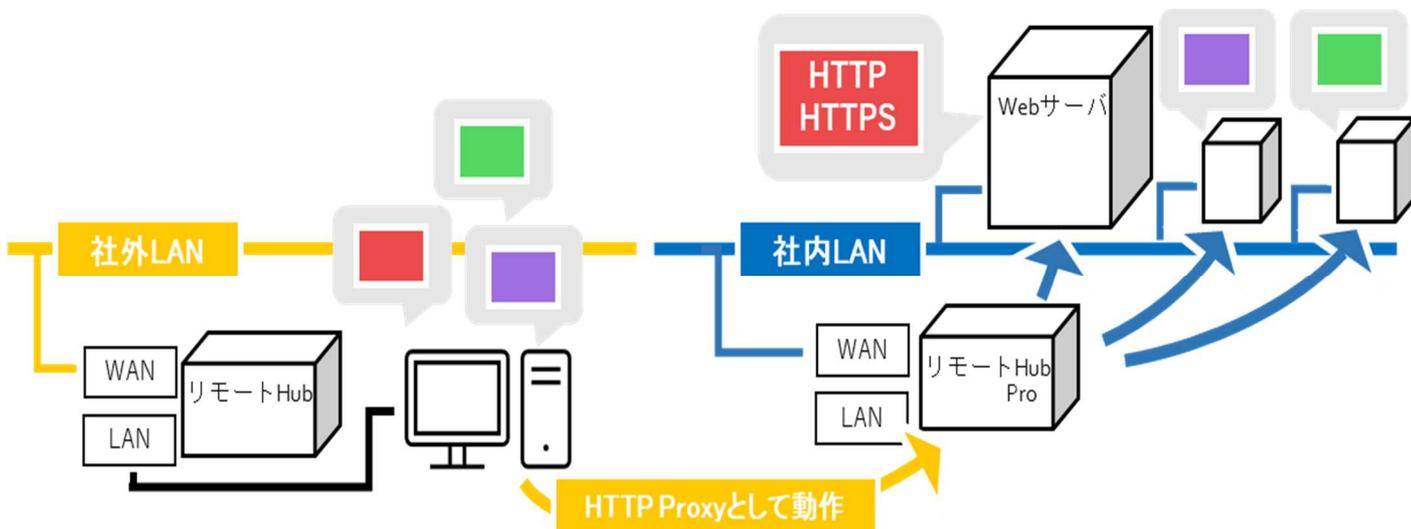
OProxy サーバとして利用 (リモート HUB Proxy を利用)

リモート HUB Proxy を社内に接続すると、社内の Web サーバすべてに、社外からアクセスすることができます。

リモート HUB Pro の WAN ポートをお使いのインターネットに接続することでご利用いただけます。

社内 Web サーバを利用して情報共有を行っているが、外部接続するための手続きが面倒な場合、この製品を利用すると、社外のリモート HUB を接続した PC からアクセスすることが可能になります。

Subversion (SVN) や Git などの HTTP を使用したバージョン管理ツールを使用するような場合も、外部からファイルアクセスできるようになるので、現地デバッグなどにも有効活用することが可能です。



Oファイルサーバとして利用 (リモート HUB ファイルサーバを利用)

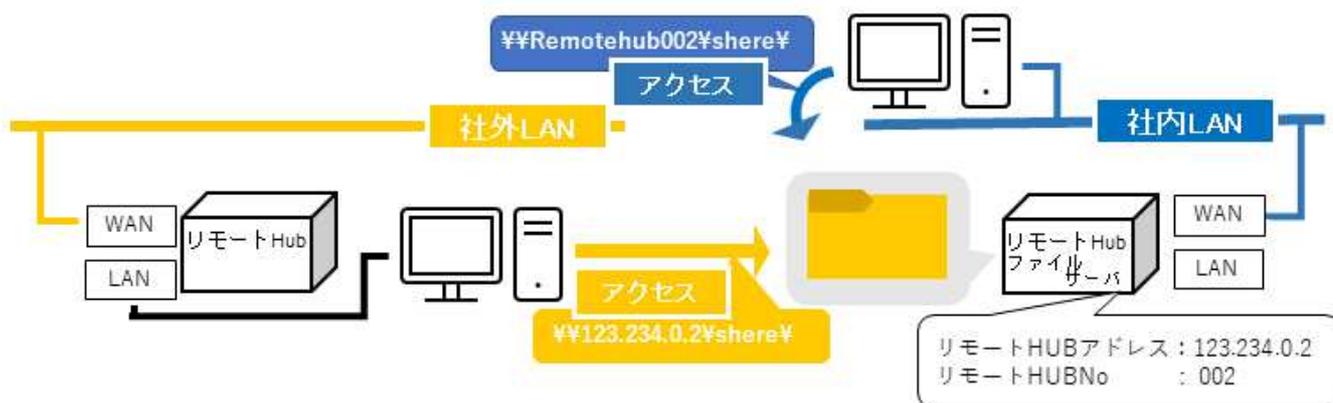
リモート HUB ファイルサーバ を使用すると、社内外でファイル共有を行うことができます。

リモート HUB ファイルサーバ の WAN ポートをお使いのインターネットに接続することでご利用いただけます。

この製品は、リモート HUB にファイル共有機能を持たせた製品になります。NAS がない場合でも、社内に 1 台本製品を接続することで、外部からでも内部からでもアクセスできるファイル共有サーバを用意することが可能です。

共有されたリモート HUB からのみアクセスできるようになっているほか、社外からの通信は暗号化されているため、セキュリティ性にも優れた製品です。

ファイルは、本体に接続された USB メモリへ保存されます。セキュリティの都合でファイルをクラウド上で管理できない方へおススメです。また、USB メモリを PC に接続してバックアップやコピーすることも可能です。

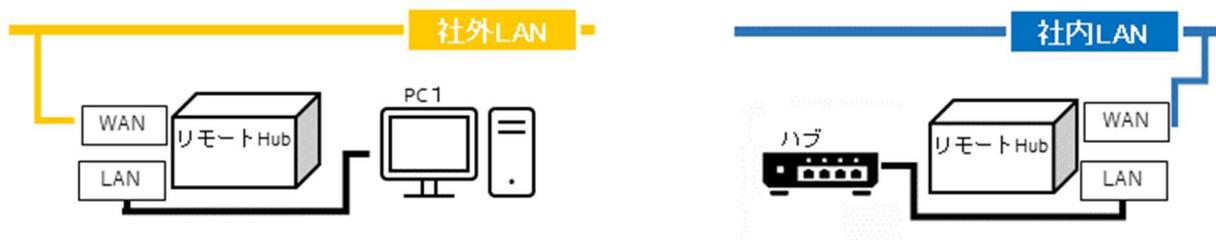


OPC 同士を LAN で接続して利用（リモート HUB ダイレクトを利用）

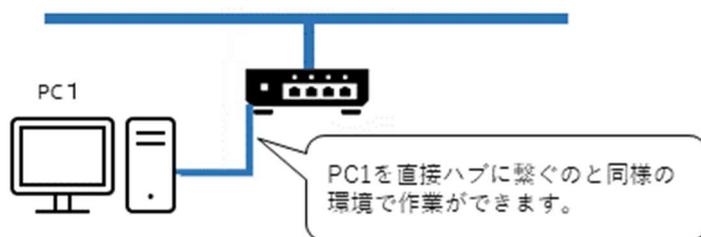
リモート HUB ダイレクトを使用すると、PC 同士が LAN ケーブルで接続されたのと同様の形になります。

PC 同士を LAN で接続しているだけなので、PC のインターネットへの接続は不要です。

インターネットへ接続することができない PC をインターネット経由で接続する際に利用できます。



ご利用イメージ



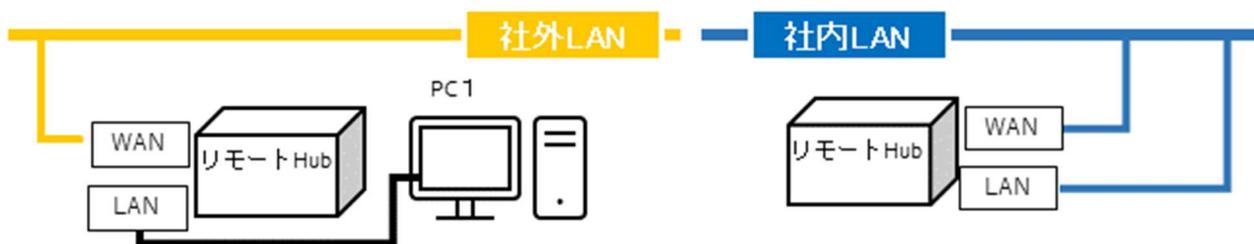
インターネットの回線を共有したい場合

リモート HUB ダイレクトのもう 1 つの使用方法です。

WAN ポート、LAN ポートどちらもインターネットが接続された社内回線に接続することができます。

外出先で上記のように接続したリモート HUB ダイレクトに接続することで、社内回線でのインターネット利用となります。

社内で作業するのと同様の環境が外出先でご利用できます。



ご利用イメージ

